

61

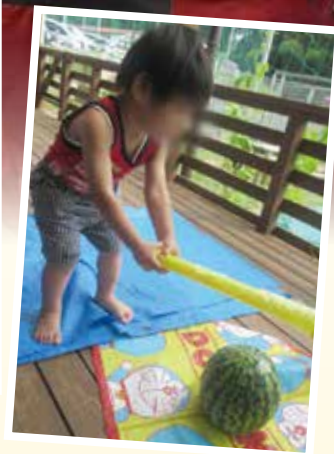
Social Welfare Corporation

同仁

吾らの誓い
—合掌木殺共生の心—
人は皆佛子
佛種を内に包む
万物は同根
合掌し合い
共に生とる



たらのホイル焼き



認定こども園

同仁東保育園

ゆうゆうクラブ

臨海学園

同仁会子どもホーム

同仁会乳児院

内原和敬寮

「食を通してのコミュニケーション」

「暑さの壁の先にある笑顔」

「臨海学園の夏休み」

「貴重な経験と、苦い思い出」

「ユニットでの生活」

「子どもの目線で見える大切さ」

つくば香風寮

さくらの森乳児院

内原深敬寮

児童家庭支援センターだより

『らふいん』

理事会だより

「家族の小さな変化」

「寄り添うということ」

「子ども育てと自分育ち」



食を通しての コミュニケーション

認定こども園 同仁東保育園

毎朝、給食室に食事数を届けに来てくれる子どもたち。その時に「今日の給食何ですか？」と聞いてくれ「○○だよ。」と答えると「やった！大好き！」と言ってくれることがあります。そんな言葉を聞けると、『よし！今日も頑張ろう。』という気持ちになり、子どもたちから元気をもらっています。時には「○○が苦手…」と言う子もいますが、好きな食材や苦手な食材を知ることができるので会話を大切にしていきます。

給食で年三回、3、4、5歳児のリクエストメニューの日があります。『やっぱりこのメニュー人気だね！』と思うこともあれば、『珍しい！』と思うこともあり、毎年『今年はどんなメニューになるのかな？』と楽しみにしています。

保護者の方からは、レシピを聞かれることもあり「作ったらたくさん食べてくれました！」と教えていただけるのも嬉しくなります。これから子どもたちが食べることを楽しみ、食を通して親子のつながりを深められるよう、私も子どもたちと共に成長していきたいと思っています。



暑さの壁の先にある笑顔

幼稚園・子育て支援

暑さ指数(WBGT)が二十八度以上ある日は、熱中症のリスクが厳重警戒レベルになりま

いた子どもたちも、目を重ねるごとに「どうせ今日も外行けないんですよ。」と諦めたり、「いつになったら外で遊べるんだよ。」と落ち込んでいた姿に、胸が苦しくなりました。

朝の学習が終わる十時頃にはすでに三十度を超えてしまい、なかなか学校のグラウンドまで行くことができず、「今日は学校のグラウンドで遊べる？」と聞かれる度に、「今日も二十八度以上あるから行けない。」と断る日々を過ごしていました。室内遊びで我慢して

そんな時、小学校の体育館にエアコンが設置されたことを知り、夏休み期間は週に二回東小学校の体育館をお借りし、涼しいところで遊べるようになりました。

ボールやバレーボール、バドミントンなど、普段ゆうゆうクラブの庭ではできない遊びをして楽しんでいました。時々、くれよんクラブのお友だちとも一緒に遊び、交流することができました。

体育館で遊ぶようになってからは「明日もバレーやる!」「またみんなでドッジボールやろう!」と楽しそうに話す姿が見られ、子どもたちに笑顔が増えたように感じました。

今年の夏休みも涼しい体育館で遊び、たくさんの笑顔を見たいと思います。



臨海学園の夏休み

～臨海学園～

臨海学園の夏休みは高萩まつり（地域のお祭り）に参加することからスタートします。小学生以上の子どもたちは7月になるとセンターのホールで園長や職員、地域の方に教えてもらいながらお囃子の練習を始めます。地域の子どもたちも参加し、本番までの間は太鼓や笛の賑やかな音がセンター内に響き渡り、臨海学園の伝統行事のひとつとなっています。

小さいころから参加している子は練習の中心になり、分からない子に教えてくれたり、準備や片付けを率先して行ってくれたりする姿が見られ毎年成長を感じます。初めて参加する子はワクワクしながら参加しますが、普段とは違う職員や年長児の雰囲気、緊張も感じるようです。始めは音が揃わず、本番が心配になりますが、日を重ねるごとに上達していく音を聞いていると練習に参加していない職員も祭りの準備に気合が入ります。

当日は子どもも職員も朝からソワソワし、お囃子に参加しない子もいつもとは違う雰囲気、テンションが高く、意気込みが伝わってきます。ボランティアの美容師さんにヘアセットやメイクをしてもらい、職員が法被を着付け、いよいよ本番です。山車に乗り演奏をする子、大きな声で「わっしょい！」と言いながらお神輿を引く子、それぞれ自分の役割を果たしながら、二日間駅前や町内を練り歩きます。友だちや先生など知っている人が見に来てくれると、力を込めて演奏する子どもたちの一生懸命な姿がとてもかわいいです。

暑い中ではありますが、みんなに元気を与える音色をたくさん響かせてほしいです。

貴重な経験と、

苦い思い出

～同仁会子どもホーム～

子どもたちがいつも楽しみにしている職業体験施設「キッズニア東京」に行ってきました。今回で三回目です。

三年連続で体験している子が初めて体験する子に教える姿。いつもは緊張して大人と手を繋いでいる子が「（体験に）行つてきてもいい？」と目を輝かせて、繋いだ手を離す姿。子ども一人ひとりが自発的に行動する姿を見せてくれます。『こんなことができるんだ！』と様々な職業を体験する以上に得られるものがあるのだと感じました。また、公共交通機関やホテルの利用は、ワクワクする時間であると同時に、社会性も身に付けられる有意義な時間となりました。

そんな中、引率した私は高熱を出してひと足先に帰ることになりました。申し訳ないと落ち込む私に「行つてくれてありがとう。」「大変だったね。」「と温かい言葉で迎えてくれた先輩職員。優しさに自然と涙が溢れました。子どもたちの成長と職員の優しさを改めて感じ、私自身もたくさんのごちそうをいただいた貴重な時間になりました。



ユニットでの生活

～同仁会乳児院～

昨年度から、ユニットごとに自分たちで使い道を考えて使用できるユニット費が設けられました。ユニットとは、少人数の生活単位です。予算は各ユニット一万円。今までも、社会経験として買い物をする機会はありませんでしたが、職員から「せっかくユニットになったから色々な経験をさせてあげたいよね。」との声が上ががり、実現しました。

これによって、子どもたちの『あれがしたい、これがしたい。』の声に応えられることが増えたように感じます。自分たちのタイミングで自由に買い物に行けたり、お菓子をみて「一緒に買いに行きたかったな。」と言われれば、日にちを設けて一緒に買いに行ったりします。子どもたちにとって買い物は身近なものとなり、日常をより豊かにすることができました。

あるユニットでは、アイスにバナナやコーンフレークといったトッピングを準備して子どもたち自身で自由にパフェを作ったり、自分たちの食べたいお菓子を選んで購入したりしました。

子どもたちが自分の意思で自由に選択することとは、とても大切な経験だと思います。同仁会乳児院は、月齢の小さい子が多く在籍しているため、まだ自分で何かを選択することが難しい子どもたちもいます。だからこそ職員が生活の中でそういった機会を作り、子どもの意思を尊重して過ごせるよう心掛けています。

子どもの 目線で 見る大切さ

～内原和敬寮～



高校生から夢見ていた児童養護施設の職員になり、もう三年が経ちました。入職当時は、目の前のことに必死で自分がやりたいこともできず、不甲斐なさを感じるばかりの日々でした。そのような中、3歳の女の子が入所してきました。大好きだった乳児院の職員と離れての生活が始まり、寂しさや不安、人見知りが強く、毎日泣いていました。その子をあやしながら夕食作りをしていたことを思い出します。そういったスキップを通して、徐々に心を開いてくれました。今では、色々な感情を見せて自分の気持ちを伝えてくれます。最初のころとは見違えるくらいできることが増え、不安でいっぱいだったあのころの姿はなくなりました。日々の生活の中で、さまざまなことを体験しながら成長していく姿を間近で見守ることができ、心温まる思いです。

ある日その子と一緒に電車に乗った時に、目を輝かせて飛び跳ねていました。小さな体いっぱい喜びを表現している姿に気づかされたことがあります。大人の私にとって、電車に乗ることは日常の些細なことでも、その子にとってはワクワクする特別な出来事だったということです。大人の目線で考えるのではなく、子どもたち一人ひとりの目線に立つことの大切さを改めて実感しました。

これからも一緒にさまざまな経験をし、子どもの成長に触れながら、子どもの目線に立って関わることを大切にしていきたいと思っています。

家族の小さな変化

～つくば香風寮～

幼稚園生のAちゃんは慎重で、ゆつくりと関係を築く女の子です。人と関わる時には、誰に対しても時間をかけて少しずつ距離を縮めていきます。両親が会いに来てくれたときも、日頃から接している職員と比べて関わる頻度が少ないため、しばらくの間は職員のそばを離れようとせず、机を挟んで両親の向かい側に座る姿がよく見られました。それでも両親は、Aちゃんを大切に想い、面会や保育参観に根気強く通い続けてくれました。

約一年にわたり丁寧に交流を積み重ねていく中で、Aちゃんの様子にも少しずつ変化が見られるようになりました。ある時から、職員のそばをすぐに離れて、両親のそばで安心して過ごせるようになっていました。また、遊びや会話を通して自然なコミュニケーションも増えていきました。

そしてある日、両親が乳幼児期の動画を見せていたときのことです。Aちゃんは夢中で画面を見ながら、自然とお父さんの膝にちょこんと座っていました。その何気ない行動に、お父さんはとても嬉しそうな表情を浮かべ、その出来事を喜んで話してくれました。

こうした小さな変化は、日々の積み重ねによつて生まれるものです。それこそが、家族としての繋がりを育んでいく大切な過程なのだと改めて感じました。子どもや家族の成長の瞬間に立ち会えることを、私たちはとても嬉しく思います。これからも、子どもと家族とともに歩み、成長していきたいです。

寄り添うということ

～さくらの森乳児院～

さくらの森乳児院で子どもたちと関わる中で「寄り添う」ということの大切さを日々感じています。ある日、一人の子どもがなかなか食事に手をつけようとせず泣いていました。スプーンを近づけても顔を背けてしまい、ご飯を食べることが難しい状況でした。しかし、無理に食べさせるのではなく、まずは今の子どもたちの気持ちに寄り添うことを意識しました。落ち着くまで抱っこをしたり、隣に座って「おいしいよ。」などと声をかけたりしました。また、他の子が楽しく食事にしている姿に興味が向くように関わりました。すると自分から椅子に座り、一口食べると、ほっとした表情や笑顔を見せ、自分で進んで食べることができました。その姿から、子どもにとって大切なのは、安心できる環境の中で一人ひとりのペースを大切にすることだと感じました。そうした関わりの中でこそ、自分の力を発揮できるのだと思います。

日々の中で、子ども一人ひとりの気持ちや姿に目を向け、その子に合った関わり方の大切さを実感しています。すぐに結果を求めるのではなく、時間をかけて信頼関係を築いていくことが必要であると気づきました。これからも子どもの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせる存在でありたいと思っています。

子ども育てと自分育ち

～内原深敬寮～

子どもと関わる中で、ゆとりを持つことの大切さを改めて感じるようになりました。子どもに対して、これはできるように頑張ってほしい、こうしてほしいと願う場面は多くあります。集団の中で生活する以上、ルールを守ることや相手を傷つけないことはもちろん大切です。そのため、少しでも良い方向へ成長してほしいという思いが強くなるのは自然なことだと思います。

しかし、私は以前、その思いが強くなりすぎるあまり、子どもを大人のペースに巻き込みすぎてしまったことがあります。大人は早く分かってほしいと考えがちですが、子どもには子どもの感じ方や考える速さがあり、気持ちが整うまでに必要な時間もあります。それにもかかわらず、自分の焦りや期待を優先してしまったことで、子どもを戸惑わせてしまったのではないかと反省しています。

そのことを振り返ると、自然と自分自身の育ちを思い出します。ルールを破ったこともあれば、うまく気持ちを伝えられなかったこともありました。そんな時に本当に必要だったのは、すぐに正しさを示されることではなく、自分なりに考え、気持ちを整理するための時間や見守ってもらえる安心感だったように思います。だからこそ、子どもに必要なのも、大人の正しさを急いで当てはめることではなく、その子なりの歩みを信じて待つことなのだと感じています。

子どもと向き合うことは、子どもの成長を支えるだけでなく、大人である自分自身の未熟さや焦りに気づき、関わり方を見直していく機会にもなります。子どもを育てることは、同時に自分自身を育てることもあるのだと感じています。



プチ・パチエピソード

2歳児クラスでの給食の時間の出来事です。にんじんを見て少し迷っていたAちゃん。「うさぎさんはにんじんが大好きなんだよ。」と声をかけると「Aちゃん、うさぎみたいに食べる!」と笑顔で答えてくれました。その姿を見ていたお友だちも「わたしも、うさぎさん!」とにんじんに挑戦。するとBくんが「ぼくはぞうさん!」と嬉しそうに話し、大きなお口でパクリと食べる姿が見られ、思わず周りに笑顔が広がりました。友だちの姿に刺激を受け、楽しみながら食べようとする子どもたちの様子に成長を感じ、温かい気持ちになりました。(同仁東保育園)

何気なく過ごしていたある日、4歳Aちゃんが「クリスマス。クリスマス。」と歌い、過ごしていました。ずっと歌っているものだから、何の歌を歌っているのかと聞くと、それはまさかのSnow Manのカリスマックスでした。Aちゃんの中では、カリスマックスはクリスマスの歌になっているみたい。今のAちゃんの流行りは「まじぎゅんぎゅんぎゅん。」です。

(臨海学園)

ある日の夕食の出来事です。高校生の男の子が私の名前を呼んで「台拭き(取って)。」と言ったのが、「大好き。」に聞こえました。「今、大好きって言ってたよね!」と他の子たちと盛り上がったのですが、本人は「違うから!“台拭き”だから!」と全力で訂正。「どうぞ。」と台拭きを手渡すと、ニヤニヤしながら「おう。」と返していました。まだ小さかった頃には、「大好きだよ。」と素直に言葉で伝えてくれていたこともあり、その頃を思い出して懐かしい気持ちになりました。(つくば香風寮)

簡単
レシピ!

たらのホイル焼き



【材料】2人分

- ・たらの切り身 … 2切れ
- ・しめじ …… 20g
- ・塩コショウ …… 少々
- ・えのき …… 20g
- ・玉ねぎ …… 30g
- ・バター …… 5g
- ・にんじん …… 10g
- ・サラダ油 …… 少々

【作り方】

- ①たらの切り身は、表面を水洗いした後キッチンペーパーで水気を切る。
- ②玉ねぎ、にんじんは千切り、しめじ、えのきは1cmに切る。
- ③ホイルにサラダ油を引いて、たらの切り身、たらの切り身、②、バターの順に重ねて包む。
- ④230℃に熱したオーブンで10分焼く。

お好みでポン酢や醤油をかけても美味しいです。オーブンがない場合は、フライパン調理でも代用可能です。底から1cmの水を張って蓋をし、中火で火が通るまで10分蒸し焼きにします。



相談室の窓から

ひびくひびくひびく

慌ただしい毎日が続いていると、だんだん余裕がなくなつて、気がつくとい日の最後にひどく疲弊している。あるあるですよ。私もよくあります。やりたいこと、やらなければならぬことはたくさんあるけれど、身体や頭がついていかぬ。そうすると、周りも見えなくなります。自分の中に余裕がなくなるのは、おそらくやりたいことや、やらなければならぬことで心の容量がいっぱいになっている状態なのだと思います。だからこそ一度外に出ることが大切です。

休憩することを「一息つく」とはよく言ったもので、気持ちに余裕がないときには、まずはゆっくり息を吸って、吐く。これだけで、気持ちに少し隙間ができることもあります。できれば、時間を取って好きなことをする、おいしいものを食べるなど、それぞれの一息のつき方があると思います。人に話すこともそうです。あいびーではお子さんに関する相談を聞いていますが、同時に、話しに来てくださる方々の「一息つく場所」になればいいと心から思っています。

同仁会児童家庭支援センター（高萩地区）令和7年度 相談受付状況

	養 護		保健	障害	非 行		育 成				その他	合計
	虐待	その他			ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適正	育児・しつけ		
延べ件数	252	316	111	75	0	0	91	12	2	1	5	865

児童家庭支援センターあいびー（内原地区）

	養 護		保健	障害	非 行		育 成				その他	合計
	虐待	その他			ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適正	育児・しつけ		
延べ件数	359	170	0	38	27	0	222	42	0	7	1	866

※令和7年8月末現在

里親支援

同仁会乳児院

里親支援専門相談員

私が同仁会乳児院の里親支援専門相談員（以下里専）として里親委託に至るまでの子どもの支援に携わり、一年が経過しました。里専の業務は、私が乳児院への就職を志したきっかけでもあります。当時から憧れていた先輩職員と共に業務に携わることができ、大変嬉しく感じています。

この一年を通して、各研修や広報活動、里親支援に関する様々な会議に参加させていただきました。その中で、里親登録の流れや、子どもの委託から委託後の支援について学びました。また、里親委託は担当施設の里専を中心に多くの関係者が関わって連携し、子どもの最善のために支援していることを実感しています。

年度末には、里専として初めての里親委託がありました。マッチング開始当初は、里親・子ども共に緊張した様子が見られましたが、交流を重ねる中で子どもが徐々に心を開き、安心して過ごせるようになっていきました。その姿を受けて里親も自信を深め、委託時には子ども自身が引越を前向きに受け止め、新しい生活へと踏み出していきました。

交流ごとに設定された目標や支援内容、子どもの安心を最優先とした段階的な関わりは、里専による丁寧な支援に基づき、計画・実施されているのだと実体験を通して学ぶことができました。

今後も、安心・安全な里親委託に向けて養育のバトンが繋がるよう、学びを重ねていきたいと思います。

理事会だより

◎第二七一回理事会

日時 令和八年三月一二日（木）

午後二時から午後三時二〇分まで

会場 同仁会子どもセンター応接室

【報告事項】

第一号報告「社会福祉法人・施設一般検査の結果及び改善処理状況について」

各施設の実地検査結果と指摘事項の改善状況を報告しました。

第二号報告「諸規定の一部改正について」

一部改正状況を報告しました。

【審議事項及び結果】

第一号議案「令和七年度最終補正予算（案）について」

審議の結果、原案どおり承認されました。

第二号議案「令和八年度経営・運営計画（案）について」

審議の結果、原案どおり承認されました。

第三号議案「令和八年度当初予算（案）について」

審議の結果、原案どおり承認されました。

第四号議案「諸規則の一部改正について」

就業規則・給与規則・組織及び管理規則の一部改正について、審議の結果、原案どおり承認されました。

第五号議案「幹部職員の人事について」

審議の結果、原案どおり承認されました。

第六号議案「同仁会東保育園病児保育棟新築工事に係る請負業者選定方針について」

審議の結果、原案どおり承認されました。

第七号議案「評議員会の開催日時及び審議事項について」

審議の結果、原案どおり承認されました。

◎第二七二回理事会

日時 令和八年四月三十日（木）

午後二時から午後二時二〇分まで

会場 同仁会子どもセンター応接室

【報告事項】

第一号議案「同仁会東保育園病児保育棟新築工事に係る工事請負契約の締結について」

審議の結果、原案どおり承認されました。

第二号議案「経理規則の一部改正について」

審議の結果、原案どおり承認されました。

審議の結果、原案どおり承認されました。

【報告事項】 第一号報告「令和七年度第三者評価事業受審結果及び自己評価実施について」 各施設受審結果と自己評価の結果について報告しました。 第二号報告「理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について」 理事長職務及び日常業務専決事項について報告しました。 第三号議案「令和七年度事業報告(案)」について 第二号議案「令和七年度決算報告(案)」について 第三号議案「定款変更について」 第四号議案「評議員会の開催日時及び審議事項について」 全ての議案について審議の結果、原案どおり承認されました。	◎第二七三回理事会 日時 令和八年五月二六日(火) 午後二時から午後二時四〇分まで 会場 同仁会子どもセンター応接室
	◎第七十七回評議員会 日時 令和八年三月二六日(木) 午後二時から午後二時四〇分まで 会場 同仁会子どもセンター 多目的ホール
【審議事項及び結果】 第一号議案「令和七年度事業報告(案)」について 第二号議案「令和七年度決算報告(案)」について 第三号議案「定款変更について」 全ての議案について審議の結果、原案どおり承認されました。	【審議事項及び結果】 第一号議案「令和七年度最終補正予算(案)」について 第二号議案「令和八年度経営・運営計画(案)」について 第三号議案「令和八年度当初予算(案)」について 審議の結果、原案どおり承認されました。 ◎第七十八回評議員会 日時 令和八年六月一八日(木) 午後二時から午後二時三〇分まで 会場 同仁会子どもセンター 多目的ホール

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日現在

資金収支計算書

自令和7年4月1日 至令和8年3月31日

(単位：千円)

(単位：千円)

資 産 の 部		決 算 額
流 動 資 産		777,296
現 預 金		334,336
有 価 証 券		0
事 業 未 収 金		367,458
未 収 金		368
未 収 補 助 金		68,720
貯 蔵 品・立 替 金		1,048
前 払 金		3,947
前 払 費 用		1,419
固 定 資 産		3,220,496
基 本 財 産		2,419,039
土 地		175,771
建 物		2,243,268
そ の 他 の 固 定 資 産		801,457
土 地		96,139
建 物		239,699
構 築 物		59,493
機 械 及 び 装 置		719
車 両 運 搬 具		558
器 具 及 び 備 品		48,273
権 利・長 期 貸 付 金		1,138
退 職 給 付 引 当 資 産		113,898
建 設 積 立 資 産		40,000
措置施設繰越特定積立資産		131,900
保育所施設整備積立資産		15,000
損害賠償積立資産		50,000
備品等購入積立資産		3,000
進学支援積立資産		1,640
資 産 の 部 合 計		3,997,792

負 債 の 部		決 算 額
流 動 負 債		413,553
事業未払金・その他の未払金		251,585
1年以内返済予定設備資金借入金		50,129
預 り 金		200
職 員 預 り 金		3,252
前 受 金		40
賞 与 引 当 金		108,347
固 定 負 債		459,606
設 備 資 金 借 入 金		345,707
退 職 給 与 引 当 金		113,899
負 債 の 部 合 計		873,159
純 資 産 の 部		
基 本 金		49,038
基 本 金		49,038
国庫補助金等特別積立金		1,219,310
国庫補助金等特別積立金		1,219,310
そ の 他 の 積 立 金		241,540
建 設 積 立 資 産		40,000
措置施設繰越特定積立資産		131,900
保育所施設整備積立資産		15,000
損害賠償積立資産		50,000
備品等購入積立金		3,000
進学支援積立金		1,640
次期繰越活動増減差額		1,614,745
(うち当期活動増減差額)		166,210
純 資 産 の 部 合 計		3,124,633
負債及び純資産の部合計		3,997,792

※注1：資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表は、千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額が合わない場合があります。
※注2：法人内取引は消去しています。

科 目	決算額
事 業 活 動 収 入 (1)	2,476,952
事 業 活 動 支 出 (2)	2,229,619
事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	247,334
施 設 整 備 等 に よ る 収 入 (4)	47,367
施 設 整 備 等 に よ る 支 出 (5)	180,227
施設整備等による収支差額 (6) = (4) - (5)	-132,860
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 入 (7)	33,618
そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出 (8)	83,759
その他活動による収支差額 (9) = (7) - (8)	-50,139
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)	64,335
前 期 末 支 払 資 金 残 高 (11)	457,883
当期末支払資金残高 (12) = (10) + (11)	522,218

事業活動収支計算書

自令和7年4月1日 至令和8年3月31日

(単位：千円)

科 目	決算額
サ ー ビ ス 活 動 収 益 (1)	2,466,760
サ ー ビ ス 活 動 費 用 (2)	2,303,371
事業活動増減差額 (3) = (1) - (2)	163,389
サ ー ビ ス 活 動 外 収 益 (4)	11,044
サ ー ビ ス 活 動 外 費 用 (5)	10,821
事業活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	223
経 常 増 減 差 額 (7) = (3) + (6)	163,612
特 別 収 益 (8)	47,368
特 別 費 用 (9)	44,770
特別増減差額 (10) = (8) - (9)	2,598
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	166,210
前 期 繰 越 活 動 収 支 差 額 (12)	1,489,635
当期末繰越活動資金残高 (13) = (11) + (12)	1,655,845
基 本 金 取 崩 額 (14)	0
そ の 他 の 積 立 金 取 崩 額 (15)	30,000
そ の 他 の 積 立 金 積 立 額 (16)	71,100
次期繰越活動収支差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	1,614,745

こどもギャラリ ~ゆうゆうクラブ~



製作



手作りおやつ



手作りキャンドル



私は君に夢中

くれよんクラブ高萩

くれよんクラブでは、常に子ども
の良さと面白いことを見つけ、
楽しく過ごしています。

そこで、日常で見られたエピソードを一つお話したいと思いま
す。

Aさんは学校でとうとう虫を見
つけ、くれよんクラブへ持ち
帰ってきました。そして、嬉し
うに手に乗せて見せていたAさ
ん。私は一旦その場を離れ、戻
てくるとみんながおやつを食べ
る中、Aさんは「さあ、食べて。」
ととうとう虫に突然ポテトチップ
スを細かくしてあげていました。
更に気がつく、ポテトチップス
で円を作り、その中にとんとう虫
を置くという不思議な光景が…。
てんとう虫はポテトチップスを食
べないと分かったAさんは、その
ポテトチップスを片づけました。
その後は、好きな絵を描き始めま
した。傍には、ずつとてんとう虫
を置いて大事そうにしていた印象
でした。

お迎えの時にAさんは、自ら
お母さんに「持ち帰りたい。」と
交渉をしていました。最終的には、
自然に返そうというお母さんの言
葉に納得することができました。
自分の気持ちと生き物を大事にし
るという感情を整理することがで
きたエピソードでした。

編集後記

気が付くと、ついスマートフォンを触つ
てしまうのが気になり、最近スマホロッ
クケースを購入しました。早速使ってみ
ようと、試しに一時三十分を設定する
つもりが、うっかり桁を間違えて十三時
間に。カウントダウンが始まった瞬間「し
まった、長すぎる。」と思いましたが、本
来の目的を思い出し、結果的には良いデ
ジタルデトックスの時間を過ごすことが
できました。

(小)

初めての情報公開委員、とても不安な
私。実は我が子三人の小学校在学中、計
七年間、広報委員会に所属。その内、五
年間は委員長を務め、広報誌の記事の依
頼、編集、校正、印刷所とのやりとりを
実践済み。よく考えれば、経験者の端く
れ。やるからには楽しく、モットーに
時代の最新構成技術を習得しながら、頑
張ります。

(緑)

1歳児クラスでは、かわいい言い間違
いがたくさん聞こえてきます。「せんせ
い」が「てんてー」になったり「おくす
り」が「おすくり」になったり…。一生
懸命伝えようとする姿に、思わず笑顔に
なります。今しか聞けない大切な言葉を、
一つひとつ心に残していきたいです。

(佐)

【発行】

令和 8 年 8 月

高萩市肥前町 1 丁目 80 番地
社会福祉法人 同 仁 会
<https://doujinkai.or.jp>
発行数 1,200 部

【編集】

社会福祉法人 同 仁 会
情報公開委員会

【印刷】

佐藤印刷株式会社